

去年、東北大震災を経験してあらためて「私たちは危険な地震大国に住んでいるんだなあ…」と感じさせられました。

津波や原子力発電所の被害はわたしたち個人の力ではどうしようもないけれど、大切なマイホームが壊れてその下敷きになって死んでしまうのは悲しいことです。

住宅はきちんとした補強を行えば耐震性も増強できるし、家の寿命も長くなります。

近い将来大きな被害をもたらすことが予測される「南海大地震」にもそなえて、なんといっても大切な家族と財産を守るために「**マイホームの耐震リフォーム**」を考えてみませんか？

## あなたのおうちは大丈夫ですか？こんなおうちは地震に弱いので気をつけましょう…。



1981年6月に建築基準法が改正され、耐震基準が強化されました。それ以前に建てられた建物は耐震対策が甘いものが多いです。



1階が店舗や車庫、大きな窓などの建物です。壁がないと耐震性の乏しい建物になってしまい、1階部分だけが倒壊という危険性があります。



軟弱な地盤は日本中にあります。特に都市部に多く、注意が必要です。軟弱地盤は揺れが大きくなります。



一見、2階が小さく1階が大きい建物は安定感がありそうですが、2階の外壁の下に壁がない場合は問題があり、建物に負担がかかります。



1階より2階部分が飛び出ている建物や、2階部分を1階の柱だけで支えるピロティー状の建物のことです。不安定な家になりがちですが、実際多く建てられています。



築年数が古いということではなく、土台や柱などが腐ったり、シロアリ被害にあっていたり、雨もりがしていたりと、強度に不安のある建物のことです。